

令和5年度

# 事業報告

令和5年4月1日から  
令和6年3月31日まで

公益財団法人 日本高等教育評価機構



## 目 次

I 法人の概況 .....	1
II 項目別事業報告 .....	4
1. 大学等の教育研究活動等の評価事業 .....	4
(1) 大学機関別認証評価 .....	4
【令和5年度認証評価】	
① 大学機関別認証評価の実施	
② 大学機関別認証評価に関する委員会等の開催	
③ 評価結果報告書の作成等	
④ 評価員セミナーの開催	
⑤ 団長セミナーの開催	
⑥ 大学・短期大学評価セミナーの開催	
⑦ 評価のフォローアップに関する事業	
⑧ 内部質保証の充実等に関する支援事業	
【令和6年度認証評価】	
① 大学・短期大学自己評価担当者説明会の開催	
(2) 短期大学機関別認証評価 .....	7
【令和5年度認証評価】	
① 短期大学機関別認証評価の実施	
② 短期大学機関別認証評価に関する委員会等の開催	
③ 評価結果報告書の作成等	
④ 評価員セミナーの開催	
⑤ 団長セミナーの開催	
⑥ 大学・短期大学評価セミナーの開催	
⑦ 評価のフォローアップに関する事業	
⑧ 内部質保証の充実等に関する支援事業	
【令和6年度認証評価】	
① 大学・短期大学自己評価担当者説明会の開催	
(3) ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価 .....	10
① ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価に関する委員会等の開催	
2. 評価に関する調査・研究 .....	10
(1) 評価基準等の調査研究 .....	10
① 評価システムの改善	
② 国内外の評価団体及び大学に対する調査・研究	
(2) 国際関係 .....	11
① 諸外国の質保証機関等との交流促進	

② 国際会議への参加等による情報収集

3. 当機構の運営機能の充実・強化	12
（1）評議員会及び理事会	12
（2）監事監査	12
（3）会員制度	12
（4）企画運営会議の開催	12
（5）評価充実協議会の開催	13
（6）当機構の自己点検・評価及び外部評価	13
（7）職員等の研修の充実	13
（8）事務局体制の強化	14
4. 広報及び啓発活動	14
（1）広報委員会の開催	14
（2）広報誌等の刊行	14
（3）情報公開	14
（4）その他の情報発信	14
5. 創立20周年記念事業の準備	15
【附属明細書】	16

# 令和5年度事業報告

## I 法人の概況

### 1. 法人設立年月日

平成16年11月25日（財団法人日本高等教育評価機構）  
（平成24年4月1日 公益財団法人へ移行）

### 2. 定款に定める目的

大学の教育研究活動の状況について評価を行い、あわせて大学の自律的な質の向上及び改善を支援し、もって我が国の大学の発展に寄与することを目的とする。

### 3. 定款に定める事業内容

前記2の目的を達するため、次の事業を行う。

- （1）教育研究水準の向上に資するために行う大学の教育研究活動等の状況の評価の実施に関する事業
- （2）その他本機構の目的を達成するために必要な事業

### 4. 所管官庁に関する事項

内閣府

### 5. 会員の状況

（単位 校）

区分	令和4年度末 (R5.3.31)	退会	入会	令和5年度末 (R6.3.31)
大学	349	3	2	348
短期大学	26	1	1	26
合計	375	4	3	374

### 6. 事務所

東京都千代田区九段北四丁目2番11号

### 7. 役員等に関する事項

#### （1）役員

（任期 令和4年6月23日から令和6年6月の定時評議員会終結の時まで）

(五十音順)

役 職	氏 名	常勤・非常勤
理事長 (代表理事)	石井 正彦	非常勤
副理事長	安井 利一	非常勤
常務理事	伊藤 敏弘	常勤
理 事	青木 二郎	非常勤
理 事	石田 優子	非常勤
理 事	石津 和彌	非常勤
理 事	小出 秀文	非常勤
理 事	清水 一彦	非常勤
理 事	瀬戸熊 修	非常勤
理 事	瀬野 隆	非常勤
理 事	高井 昌史	非常勤
理 事	高柳 元明	非常勤
理 事	塚本 英邦	非常勤
理 事	中山 峰男	非常勤
理 事	久光 正	非常勤
理 事	水戸 英則	非常勤
理 事	三輪 博美	非常勤
理 事	山谷敬三郎	非常勤
監 事	妹尾喜三郎	非常勤
監 事	三田村典昭	非常勤

理事 18人 監事 2人 (令和6年3月末現在)

(2) 評議員

(任期 令和2年7月28日から令和6年6月の定時評議員会終結の時まで)

(五十音順)

役 職	氏 名	常勤・非常勤
評議員・議長	福井 直敬	非常勤
評議員	泉屋 吉郎	非常勤
評議員	小野 長門	非常勤
評議員	弦間 昭彦	非常勤
評議員	後藤 泰之	非常勤
評議員	鈴木 勉	非常勤
評議員	谷岡 一郎	非常勤
評議員	鶴 衛	非常勤

役 職	氏 名	常勤・非常勤
評議員	野原 明	非常勤
評議員	畑山 浩昭	非常勤
評議員	福井 一光	非常勤
評議員	本山 秀毅	非常勤
評議員	焼廣 益秀	非常勤
評議員	柳澤 章	非常勤
評議員	六鹿 正治	非常勤
評議員	渡邊 秀俊	非常勤

評議員 16人（令和6年3月末現在）

#### 辞任

役 職	氏 名	常勤・非常勤
評議員	谷山 弘行	非常勤
評議員	森田 嘉一	非常勤

（令和5年4月20日辞任）

（令和5年9月10日逝去）

#### （3）顧問

役 職	氏 名	常勤・非常勤
顧 問	黒田 壽二	非常勤

## 8. 職員に関する事項

### （1）職員数等

（単位 人）

職員数	令和4年度末 (R5.3.31)	増員	減員	令和5年度末 (R6.3.31)
計	20 [7]	0 [12]	1 [6]	19 [13]

\* [ ] は研修員（外数）

### （2）管理職職員数（課長以上）

（単位 人）

事務局長	部 長	次 長	課 長
1	2 [1]	1	5

\* [ ] は兼務者（外数）

## 9. 許認可に関する事項

### （1）登記事項（※日付は届出日）

- ① 評議員の辞任（令和5年6月8日）
- ② 定款の変更に伴う法人の目的及び公告方法の変更（令和5年7月5日）
- ③ 評議員の辞任（令和5年9月22日）

## (2) 行政庁等に対する届出等（※日付は届出日）

- ① 評議員の辞任（内閣府）（令和5年6月20日）
- ② 事業報告等の提出（内閣府）（令和5年6月29日）
- ③ 定款の変更（内閣府）（令和5年7月24日）  
（※評議員会の決議方法変更及び情報公開の条文追加等）
- ④ 大学機関別認証評価実施大綱及び評価基準の変更（文部科学省）  
（令和5年8月29日）
- ⑤ 短期大学機関別認証評価実施大綱及び評価基準の変更（文部科学省）  
（令和5年8月29日）
- ⑥ 評議員の辞任（内閣府）（令和5年10月3日）
- ⑦ ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価実施大綱及び評価基準の変更  
（文部科学省）（令和6年2月27日）

## II 項目別事業報告

### 1. 大学等の教育研究活動等の評価事業

#### (1) 大学機関別認証評価

大学機関別認証評価は、70校からの認証評価の申請を受理し、大学評価基準（6基準、23の基準項目、56の視点）をもとに、各大学が自己点検・評価の結果としてまとめた自己点検評価書に基づき、書面調査及び実地調査を実施した。教育研究活動等の総合的な状況を評価するとともに、自己点検・評価の検証を行い、大学評価基準に適合しているか否かの判定を行った。

第3期評価システムの6年目である令和5年度は、前年度同様、第1回評価員会議、第2回から第4回までの評価員会議を含む実地調査については対面で行い、セミナー、第5回評価員会議及び評価に関する各種委員会については、対面とオンラインの併用で実施した。一部のセミナー等については、動画配信により実施した。

また、令和7年度から実施する第4期大学機関別認証評価システムを審議した。

#### 【令和5年度認証評価】

##### ① 大学機関別認証評価の実施

ア. 令和5年度認証評価 70校

「適合」66校（私立）・2校（公立）、「不適合」2校（私立）

イ. 事前相談及び事後相談（随時）

事前相談6校、事後相談6校

・ 認証評価（五十音順）

適合68校

（私立）

愛知工科大学、青森中央学院大学、朝日大学、芦屋大学、一宮研伸大学、岩手保健医療大学、宇部フロンティア大学、奥羽大学、桜花学園大学、

大阪大谷大学、大阪観光大学、大阪芸術大学、大阪工業大学、  
 大阪総合保育大学、関西医療大学、関西福祉大学、畿央大学、京都外国語大学、  
 国立音楽大学、健康科学大学、甲子園大学、埼玉学園大学、滋慶医療科学大学、  
 静岡英和学院大学、静岡福祉大学、至誠館大学、純真学園大学、松蔭大学、  
 杉野服飾大学、西南女学院大学、摂南大学、高岡法科大学、筑紫女学園大学、  
 中国学園大学、筑波学院大学、東亜大学、東海学園大学、東京家政学院大学、  
 東京純心大学、桐朋学園大学、桐朋学園大学院大学、東北公益文科大学、  
 東北文教大学、常磐会学園大学、豊橋創造大学、長岡大学、名古屋音楽大学、  
 名古屋学芸大学、名古屋造形大学、日本映画大学、日本薬科大学、  
 ノースアジア大学、梅花女子大学、八戸学院大学、東大阪大学、兵庫大学、  
 びわこ成蹊スポーツ大学、福島学院大学、北海商科大学、北海道情報大学、  
 北海道千歳リハビリテーション大学、松山東雲女子大学、目白大学、盛岡大学、  
 安田女子大学、山梨学院大学

(公立)

旭川市立大学、周南公立大学

不適合 2 校

(私立)

愛国学園大学、日本保健医療大学

#### 【評価スケジュール】

・ 書面調査実施	令和 5 年 7 月～
・ 実地調査実施（原則 2 日間）	令和 5 年 10 月 4 日～12 月 1 日
・ 意見申立て審査会審議	令和 6 年 2 月 20 日
・ 大学評価判定委員会審議	令和 6 年 1 月 31 日、3 月 4 日
・ 理事会承認	令和 6 年 3 月 15 日
・ 文部科学大臣へ報告	令和 6 年 3 月 18 日
・ 評価結果公表	令和 6 年 3 月 25 日

#### ② 大学機関別認証評価に関する委員会等の開催

- ア. 大学評価判定委員会（開催 4 回／委員 17 人）
- イ. 意見申立て審査会（開催 1 回／審査員 5 人）
- ウ. 評価員養成検討委員会（開催 3 回／委員 7 人）
- エ. 評価システム改善検討委員会（開催 9 回／委員 10 人）

#### ③ 評価結果報告書の作成等

大学評価判定委員会の判定及び理事会の承認を得た 70 校の評価結果報告書を作成し、文部科学省、報道機関、その他関係大学等に評価結果を報告するとともに、令和 6 年 3 月 25 日にホームページで公表した。

④ 評価員セミナーの開催

評価員は、評価基準等の評価システムを熟知するとともに、高いレベルでの共通理解、認識が必要となる。令和5年度大学機関別認証評価を担当する評価員に対して、評価員としての業務や留意事項などをまとめた動画を配信し、視聴を求めた。また、Web会議システムを利用して評価チームごとに情報共有を行った。

視聴期間 令和5年6月8日～12月1日 令和5年度評価員 342人視聴  
情報共有実施期間 令和5年7月5日～28日 令和5年度評価員 342人参加

⑤ 団長セミナーの開催

評価作業の平準化を図るため、Web会議システムを利用してセミナーを開催し、団長の役割や留意事項などについて説明した。

開催日 令和5年6月15日～21日（5日間）  
参加者 67人

⑥ 大学・短期大学評価セミナーの開催

「大学・短期大学評価セミナー」は、会場集合と動画配信（ライブ配信及び期間限定でのオンデマンド配信）を併用した形式で開催した。

開催日	会場	参加者
令和5年4月21日	（東京）アルカディア市ヶ谷	95人

⑦ 評価のフォローアップに関する事業

過年度に「適合」の判定を受けた大学のうち、「改善を要する点」として指摘があった26校から合計88件の改善報告を受けた。当機構は、大学から提出された「改善報告書」等が当該大学のホームページで公表されていることを確認し、改善報告等審査会及び大学評価判定委員会において審議を行い、その結果を大学に通知した。

その他、評価のフォローアップとして、大学から講評や相談などの求めに対し、当機構において審議を行い、対応した。

- ア. 改善報告等審査会（開催2回／審査員5人）
- イ. 大学への講評・相談の実施（随時）

⑧ 内部質保証の充実等に関する支援事業

各大学の自主的な内部質保証の充実及び教育研究活動等の自律的な展開を支援・促進するため、大学からの依頼を受けて当機構の役職員を講師として派遣した。

- ・講師派遣事業の実施 19校

## 【令和6年度認証評価】

令和6年度大学機関別認証評価の申請は、令和5年7月に受理した。

認証評価 73校

### 【申請大学】(五十音順)

・認証評価 73校(私立)

愛知学泉大学、青森大学、育英大学、育英館大学、浦和大学、  
エリザベト音楽大学、大阪青山大学、大阪河崎リハビリテーション大学、  
大阪国際大学、大阪成蹊大学、大阪人間科学大学、大阪物療大学、  
沖縄科学技術大学院大学、沖縄キリスト教学院大学、開智国際大学、  
関東学園大学、共栄大学、京都芸術大学、京都情報大学院大学、  
京都美術工芸大学、倉敷芸術科学大学、群馬パース大学、神戸医療未来大学、  
国際大学、札幌大学、札幌大谷大学、札幌国際大学、山陽学園大学、  
四條畷学園大学、尚綱大学、尚綱学院大学、白梅学園大学、星槎大学、  
聖泉大学、清和大学、仙台大学、千里金蘭大学、第一薬科大学、太成学院大学、  
高崎商科大学、高千穂大学、宝塚医療大学、千葉科学大学、帝京平成大学、  
帝塚山学院大学、東京医療学院大学、東京通信大学、東京福祉大学、  
東北文化学園大学、徳島文理大学、富山国際大学、名古屋芸術大学、  
奈良学園大学、新潟食料農業大学、西九州大学、日本ウェルネススポーツ大学、  
日本経済大学、日本女子体育大学、羽衣国際大学、浜松学院大学、  
東日本国際大学、兵庫医科大学、福岡国際医療福祉大学、福山大学、  
文化学園大学、平安女学院大学、北翔大学、北洋大学、八洲学園大学、  
横浜商科大学、横浜創英大学、四日市大学、  
LEC 東京リーガルマインド大学院大学

#### ① 大学・短期大学自己評価担当者説明会の開催

令和6年度の認証評価を申請した大学及び短期大学の自己評価担当者等の関係者を対象に、当機構が実施する認証評価について、理解を深めることを目的とし、評価システム改定の経緯をはじめ、認証評価の基本方針や評価基準、自己点検評価書等の作成及び評価のプロセスについてまとめた動画を作成して配信した。その後、大学からの依頼を受けて Web 会議システムを利用した個別相談会を実施した。

動画配信日 令和5年9月1日

個別相談会 開催日 令和5年9月19日～22日

参加校数 大学26校

#### (2) 短期大学機関別認証評価

短期大学機関別認証評価は、9校から認証評価の申請を受理し、短期大学評価基準(6基準、23の基準項目、56の視点)をもとに、各短期大学が自己点検・評価の結果としてまとめた自己点検評価書に基づき、書面調査及び実地調査を実施した。教育研究活

動等の総合的な状況の評価するとともに、自己点検・評価の検証を行い、短期大学評価基準に適合しているか否かの判定を行った。

第3期評価システムの6年目である令和5年度は、前年度同様、第1回評価員会議、第2回から第4回までの評価員会議を含む実地調査については対面で行い、セミナー、第5回評価員会議及び評価に関する各種委員会については、対面とオンラインの併用で実施した。一部のセミナー等については、動画配信により実施した。

また、令和7年度から実施する第4期短期大学機関別認証評価システムを審議した。

#### 【令和5年度認証評価】

##### ① 短期大学機関別認証評価の実施

ア. 令和5年度認証評価 9校

「適合」9校（私立）

イ. 事前相談及び事後相談（随時）

事後相談2校

・ 認証評価（五十音順）

適合9校（私立）

宇部フロンティア大学短期大学部、大阪芸術大学短期大学部、  
作新学院大学女子短期大学部、静岡英和学院大学短期大学部、  
西南女学院大学短期大学部、八戸学院大学短期大学部、  
兵庫大学短期大学部、福島学院大学短期大学部、松山東雲短期大学

#### 【評価スケジュール】

・ 書面調査実施	令和5年7月～
・ 実地調査実施（原則2日間）	令和5年10月4日～11月22日
・ 短期大学評価判定委員会審議	令和6年2月2日、2月29日
・ 理事会承認	令和6年3月15日
・ 文部科学大臣へ報告	令和6年3月18日
・ 評価結果公表	令和6年3月25日

##### ② 短期大学機関別認証評価に関する委員会等の開催

ア. 短期大学評価判定委員会（開催4回／委員10人）

イ. 短期大学意見申立て審査会（開催1回／審査員5人）

##### ③ 評価結果報告書の作成等

短期大学評価判定委員会の判定及び理事会の承認を得た9校の評価結果報告書を作成し、文部科学省、報道機関、その他関係短期大学等に評価結果を報告するとともに、令和6年3月25日にホームページで公表した。

④ 評価員セミナーの開催（大学と合同開催）

評価員は、評価基準等の評価システムを熟知するとともに、高いレベルでの共通理解、認識が必要となる。令和5年度短期大学機関別認証評価を担当する評価員に対して、評価員としての業務や留意事項などをまとめた動画を配信し、視聴を求めた。また、Web会議システムを利用して評価チームごとに情報共有を行った。

視聴期間 令和5年6月8日～12月1日 令和5年度評価員 45人視聴  
情報共有実施期間 令和5年7月5日～28日 令和5年度評価員 45人参加

⑤ 団長セミナーの開催（大学と合同開催）

評価作業の平準化を図るため、Web会議システムを利用してセミナーを開催し、団長の役割や留意事項などについて説明した。

開催日 令和5年6月15日～21日（5日間）  
参加者 9人

⑥ 大学・短期大学評価セミナーの開催（再掲）

⑦ 評価のフォローアップに関する事業

過年度に「適合」の判定を受けた短期大学のうち、「改善を要する点」として指摘があった1校から11件の改善報告を受けた。当機構は、短期大学から提出された「改善報告書」等が当該短期大学のホームページで公表されていることを確認し、短期大学評価判定委員会において審議を行い、その結果を短期大学に通知した。

その他、評価のフォローアップとして、短期大学から講評や相談などの求めに対し、当機構において審議を行い、対応した。

ア. 「改善報告書」等を審議した短期大学評価判定委員会（開催1回／委員10人）  
イ. 短期大学への講評・相談の実施（随時）

⑧ 内部質保証の充実等に関する支援事業

各短期大学の自主的な内部質保証の充実及び教育研究活動等の自律的な展開を支援・促進するため、短期大学からの依頼を受けて当機構の役職員を講師として派遣した。

・講師派遣事業の実施 2校

【令和6年度認証評価】

令和6年度短期大学機関別認証評価の申請は、令和5年7月に受理した。

認証評価 6校

### 【申請短期大学】（五十音順）

#### ・ 認証評価 6校（私立）

京都外国語短期大学、札幌大谷大学短期大学部、山陽学園短期大学、  
尚綱大学短期大学部、第一幼児教育短期大学、福岡こども短期大学

#### ① 大学・短期大学自己評価担当者説明会の開催

令和6年度の認証評価を申請した大学及び短期大学の自己評価担当者等の関係者を対象に、当機構が実施する認証評価について、理解を深めることを目的とし、評価システム改定の経緯をはじめ、認証評価の基本方針や評価基準、自己点検評価書等の作成及び評価のプロセスについてまとめた動画を作成して配信した。その後、短期大学からの依頼を受けて Web 会議システムを利用した個別相談会を実施した。

動画配信日 令和5年9月1日

個別相談会 開催日 令和5年9月19日～22日

参加校数 短期大学2校

### (3) ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価

令和5年度は、令和7年度以降の評価システムを審議した。

#### ① ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価に関する委員会等の開催

ア. ファッション・ビジネス系専門職大学院評価判定委員会（開催4回／委員7人）

## 2. 評価に関する調査・研究

### (1) 評価基準等の調査研究

令和5年度は、令和7年度からの第4期の評価システムの検討を行った。また、令和4年度に引続き、欧州の質保証制度について調査研究を行った。

#### ① 評価システムの改善

- ・ 大学機関別認証評価については、令和7年度からの第4期の評価の実施大綱と評価基準を中心に検討を行った。
- ・ 短期大学機関別認証評価については、大学機関別認証評価の評価システムの改定内容を参考に、第4期の評価の実施大綱と評価基準を中心に検討を行った。
- ・ ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価については、令和7年度以降の評価の実施大綱と評価基準を中心に検討を行った。

#### ② 国内外の評価団体及び大学に対する調査・研究

令和4年度に引き続き、欧州における高等教育の質保証へのステークホルダー（特に学生）参画に関する調査研究を行った。

ア. イギリスの高等教育機関へのインタビュー調査（オンライン）

実施日時：令和5年4月28日、5月12日、6月16日、6月20日

- ・ノッティンガム大学 (University of Nottingham)
- ・バーミンガム・シティ大学 (Birmingham City University)
- ・セントアンドリュース大学 (University of St Andrews)
- ・ハイランズアンドアイランズ大学 (University of the Highlands and Islands)

#### イ. アンケート調査

対象：European Students' Union の Quality Assurance Student Experts Pool の所属メンバー

方法：「Google Form」を利用したオンラインアンケート

回答期間：令和5年5月16日～7月15日

### (2) 国際関係

#### ① 諸外国の質保証機関等との交流促進

海外の評価機関との協力体制を構築するため、令和5年度は協力協定を締結した機関と以下の交流活動を行った。

- ・フィリピンの評価機関である Philippine Association of Colleges and Universities Commission on Accreditation (PACUCOA) の職員14人が来訪し、当機構との意見交換を行った。

開催日：令和5年8月8日

場 所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）

- ・台湾の評価機関である Higher Education Evaluation and Accreditation Council of Taiwan (HEEACT) が主催する国際会議への参加及び発表を行った。

開催日：令和5年10月19日、20日

場 所：台湾・台北

- ・台湾の評価機関である Higher Education Evaluation and Accreditation Council of Taiwan (HEEACT) との協力協定を更新した。

更新日：令和6年3月27日

#### ② 国際会議への参加等による情報収集

諸外国の高等教育の質保証の最新動向を把握するために、高等教育の質保証や評価に関わる国際的な機関等に加えするとともに、国際会議等へ適宜参加して、情報の収集に努め、当機構の今後の評価システム改善等の検討材料としている。令和5年度は、以下の活動を行った。

- ・世界大学総長協会（IAUP）の Semi-Annual Meeting in Japan へ参加した。

開催日：令和5年9月13日、14日

場 所：リーガロイヤルホテル（大阪）

- ・当機構の調査研究に協力いただいたインドネシアの評価機関 Badan Akreditasi Nasional Perguruan Tinggi (BAN-PT) の役員2人が来訪し、意見交換を行った。

開催日：令和5年11月27日

### 3. 当機構の運営機能の充実・強化

#### (1) 評議員会及び理事会

令和5年度の評議員会は6月に1回、理事会は6月に第1回理事会及び臨時理事会、12月に第2回理事会、翌年3月に第3回理事会の計4回、それぞれWeb会議システムを利用して開催した。

内部管理体制の整備について、評議員会で定款の変更及び評議員会運営規則の改正を行い、法人運営の柔軟性を高め、環境変化に適切に対応するための体制を整えた。また、定款の変更を踏まえて、臨時理事会で理事会運営規則、理事長、副理事長及び常務理事選定に関する規程を改正し、議長の議決権の取扱い等を見直すとともに、情報公開規程等を改正し実務及び諸規則間の整合を図った。

評議員会	開催日
評議員会	令和5年6月22日

理事会	開催日
第1回 理事会	令和5年6月6日
臨時理事会	令和5年6月28日
第2回 理事会	令和5年12月12日
第3回 理事会	令和6年3月15日

#### (2) 監事監査

定款及び規則に基づき、事業報告、財務諸表等及び理事の職務執行状況等について、監事監査を実施した。令和5年5月25日に監査報告書を作成し、第1回理事会及び評議員会において監事が報告を行った。

#### (3) 会員制度

会員校への情報提供として、評価充実協議会の開催、メールマガジンの配信、機関誌の送付を行った。また、令和5年度に入会した大学及び短期大学に対して、個別に当機構の評価の特色等の説明を行った。

#### (4) 企画運営会議の開催

当機構の目的及び将来構想並びに当機構の評価システムの見直し改善及び今後の方向性等に関する具体的な事項について、Web会議システムを利用して開催し、令和5年度は、創立20周年記念事業の一環である周年誌の座談会及び評価充実協議会パネルディスカッションについて審議した。

- ・企画運営会議（開催1回／委員8人）

#### (5) 評価充実協議会の開催

認証評価機関として、現状、今後のあり方、更には将来の展望について、会員大学の理事長、学長、事務局長、評価担当者等の大学関係者、その他教育関係者、行政、一般社会人を対象に、教育の質の維持・向上に対する啓発を目的として開催した。令和5年度は、会場集合とライブ配信の併用形式で行った。

- ・講演「高等教育政策の最近の動向－改正私立学校法を中心に－」  
講師 茂里毅 文部科学省高等教育局私学部長
- ・報告「当機構の活動状況－第4期評価システムの方向性を中心に－」  
報告者 伊藤敏弘 常務理事・事務局長
- ・事例発表1「学修成果と内部質保証の取組み」  
講師 秋元典子 甲南女子大学学長
- ・事例発表2「教育の質保証システム構築への取組み」  
講師 石川昭仁 学校法人長崎学院内部質保証担当理事、  
長崎外国語大学外国語学部教授

開催日	会場	参加者
令和5年7月11日	(東京)アルカディア市ヶ谷	会場集合 約130人 ライブ配信視聴者数 約1,200人 (関係機関を含む。)

#### (6) 当機構の自己点検・評価及び外部評価

自己点検・評価実施委員会及び自己点検・評価専門委員会を開催し、当機構が独自に設定した評価基準に基づき、当機構の活動状況について現状分析を含めた自己点検・評価を行った。令和5年8月に自己点検・評価報告書を取りまとめ、9月から翌年3月にかけて外部評価委員会による外部評価を行い、外部評価結果報告書を受理した。また、中央教育審議会大学分科会認証評価機関の認証に関する審査会に自己点検・評価報告書を提出し、12月に当該審査会の確認及びヒアリングを受け、翌年3月5付け事務連絡において確認結果のコメントが付された。

- ・自己点検・評価実施委員会（開催2回／委員6人）
- ・自己点検・評価専門委員会（開催3回／委員18人）
- ・外部評価委員会（開催3回／委員5人）

#### (7) 職員等の研修の充実

大学等の職員を当機構へ受入れる「研修員受入制度」について、令和5年度は研修員13人を受入れ、各大学の内部質保証機能の充実・強化、評価業務の円滑な遂行に資する人材の養成に努めた。

研修の実施については、経験者を含む研修員と職員との合同での職員等勉強会のほか、研修員による研修成果報告会を開催し、職員等の資質能力の向上に努めた。

併せて、専門的知識の習得のため、評価に関連する勉強会、各種学会への参加及び日本私立大学協会等の関係団体等が主催する研修会、文部科学省各種審議会等の傍聴等へ職員等が参加した。

#### (8) 事務局体制の強化

評価事業部を、評価事業課一課体制から、評価支援課、評価事業第1課、評価事業第2課の三課体制に改編し、体制を各大学・短期大学の自主的な内部質保証の充実の支援及び教育研究活動等の自律的な展開を支援・促進をするための体制を整えた。

当機構職員の資質・能力向上に資する人事評価制度については、仕組みの検討を進め、求める職員像に当たる「日本高等教育評価機構の使命・理念・行動指針」の案を作成した。人事評価制度については、引続き仕組みの整備を進め、令和6年度の試行を予定している。

### **4. 広報及び啓発活動**

#### (1) 広報委員会の開催

当機構の今後の広報活動の充実を図るため、広報に関わる基本方針や方向性などについて、Web会議システムを利用して開催し、令和5年度は創立20周年記念事業の一環であるホームページのリニューアル、20周年誌及び記念品等について審議した。

- ・ 広報委員会（開催2回／委員8人）

#### (2) 広報誌等の刊行

認証評価機関としての活動状況及び評価結果を公表するとともに、評価の意義、内容、手続き等について、大学関係者をはじめ一般社会に広く理解を得るため、令和5年度は次のとおり広報誌等を刊行し、会員校、関係大学、関係機関等へ送付するとともに、ホームページで公表した。

- ・ 機関誌 PeeR（ピア）第18号の刊行 令和5年7月 5, 300部

#### (3) 情報公開

定款等に基づき、公益財団法人として必要な情報をホームページ等に公開するとともに、評価結果、各種マニュアルなどを適宜ホームページに掲載した。

#### (4) その他の情報発信

委員会の開催状況や評価に関する事業の紹介など、メールマガジンで会員校及び評価員等へ積極的に発信した。

また、教育学術新聞（日本私立大学協会発行）へ「日本高等教育評価機構だより」を掲載した。

- ・メールマガジンの配信 毎月末1回 配信先 約2,000件
- ・教育学術新聞への掲載 令和5年4月～令和5年10月 4回掲載

## 5. 創立20周年記念事業の準備

令和6年11月25日に創立20周年を迎えることを踏まえ、20周年記念事業（評価充実協議会、周年誌の刊行、ホームページのリニューアル等）の実施に向けた準備を進めた。

**【附属明細書】**

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。

以上